

宮城県考古学会中近世部会
令和元年度第2回勉強会

令和元年12月21日、仙台市の史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設において勉強会を実施いたしました。

吾妻俊典氏より「川内古碑の陸奥州主」と題した研究発表を受け、参加者も含め青葉山の霊場としての位置付けや板碑の立地などについての活発な議論が交わされました。

また会員からの情報提供として田中氏より南三陸町沢内板碑群の状況、森田氏より中世城館集成について、及川氏から近世墓の調査事例の報告がありました。

次回は4月頃に石巻市羽黒下遺跡の出土遺物の見学会を予定しております。日程など詳細は決まり次第お知らせいたしますので、奮ってご参加ください。

